

俳句的なことから (1)

ベルリンでの一茶論議 — その1

中嶋雄

ベルリンの秋は、かなり冷え込むけれど、それだけに紅葉が鮮やかで美しい。紅が映える信濃路とは違って、黄褐色が主調だ。そのベルリンの閑静な一角に日独センターがある。東西交流の場として様々な文化的・学術的な催しが行われ、広く世界に知られているが、私はたまたま昨秋と今秋、二年続けて同センターの国際シンポジウムに招かれた。昨年のテーマは「高等教育と大学」だったが、今年には「子供と音楽」というユニークなもので、日本からは才能教育研究会の豊田耕児会長と私が参加した。このシンポジウムのためのスズキ・メソッドの子供たち十名による演奏も、大変に好評であった。

シンポジウムでの議論も活発だったが、「スズキ・メソッド—音楽と幼児教育およびその普遍性」と題する私の報告に際し、スズキの子供たちは一茶の俳句を朗読するそうだが、その意味するところは何か、といった質問が会場から飛び出した。私はいささか戸惑ったけれど、「ドイツでも、イギリスやフランスでも、子供たちがよく詩を朗読するように、型とリズムのある日本の伝統的な短詩としての俳句の朗読と暗記は、幼児教育としても大切で、鈴木鎮一先生は子供にも親しみやすい一茶の俳句を百句選ばれたのだ」といった返答をした。それからしばらく、一茶の俳句をめぐる論議が交わされたのだが、まさかベルリンで一茶が話題なり、私がそれに答弁するなどとは、思いもよらないことであった。

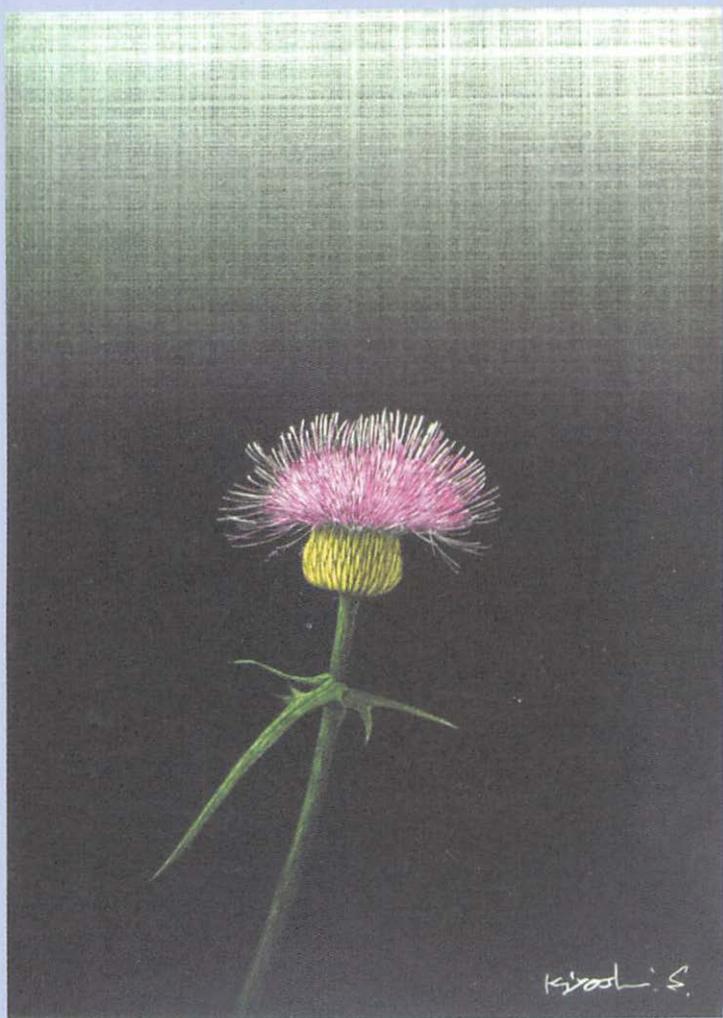
(国際社会学者)

目次 (214号)

俳句的なことから (1) .....	表紙絵	斉藤
題字 .....	佐藤	文子
中嶋 .....	中嶋	嶺雄
俳冠抄 .....	文子	清
六根清浄 .....	佐藤	
第十回信濃俳句通信賞主宰選評 .....	佐藤	文子
第十回信濃俳句通信賞作品 .....	佐藤	文子
古畑 .....	金田	町子
通信新人賞作品 .....	加科	登美子
有賀 .....	丸山	奈津子
通信奨励賞作品 .....	健二	
通信賞得点表 .....		
通信賞佳作作品 .....		
通信新人賞佳作作品 .....		
審査員選評 .....		
俳句アンクル .....		
邂逅集 .....		
梓集 .....		
風発 .....		
青嶺集 .....	上原	みすず
青樹集 .....		
萌芽集 五句選 .....		
溪流 .....	増田	連
久女雑感 (II) .....		
万華鏡 .....	高木	彰
せせらぎ .....		
例會作品集 .....		

# 信濃俳句通信

平成七年四月十九日 第三種郵便物認可  
平成十五年一月十日発行（毎月一回十日発行）  
第十九卷第一号一月号（通卷二四号）



2003 1月号